

# 丹後王国「食のみやこ」の市管轄エリア利活用の検討開始

資料No1



(農林水産部農業振興課)

## 事業（項目）のポイント

### 1. 背景及び目的

- ・台風23号（2004年の10月）により被災した「丹後王国タワー」を、合併特例債の活用期限（令和6年度）までに解体し、跡地活用を考える必要がある。合わせて、抜本的な市管轄エリアの利活用を一体的に検討する必要がある。
- ・西日本最大級の道の駅である丹後王国「食のみやこ」の入場者数は、リニューアルオープン時の52万5千人/年から減少傾向にあり、さらに、コロナ禍の影響から令和2年度は16万2千人/年となっている。現在、全国の道の駅の数は1,100を超えており、同園が他と差別化され、目的地として選ばれる魅力的な場所となるよう、解体と整備を一体として捉え、市管轄エリアのリニューアルを令和6年度中までに実施し、京阪神を問わず全国からの誘客を図るもの。

### 2. 丹後王国「食のみやこ」の市エリアの状況

丹後王国タワー 立入規制

ゴーカート場



### 3. 今後の検討（予定）

#### 誘客効果が高く、滞在時間の多いアトラクションの整備

スケートボードに関する各要望書の提出有。  
この機会に、スポーツアトラクションについての検討を開始。



#### ■令和4年度以降

- ・跡地活用スポーツアトラクションワーキング会議の開催  
（小中高の生徒、関係団体、府、市、丹後王国「食のみやこ」関係者等）
- ・整備基本計画・設計へ反映
- ・タワー等解体撤去工事
- ・スポーツアトラクションをファミリー等で楽しめる施設の整備



資料No1